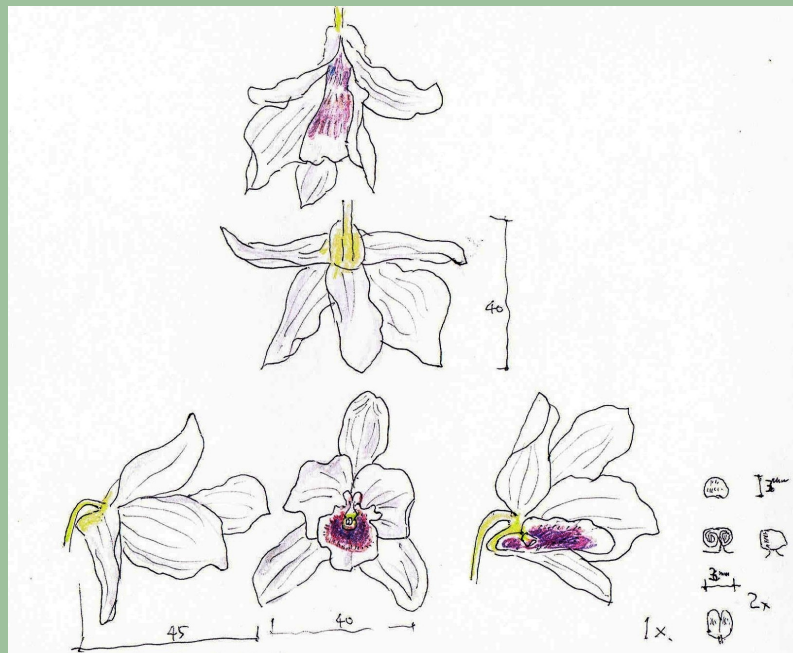
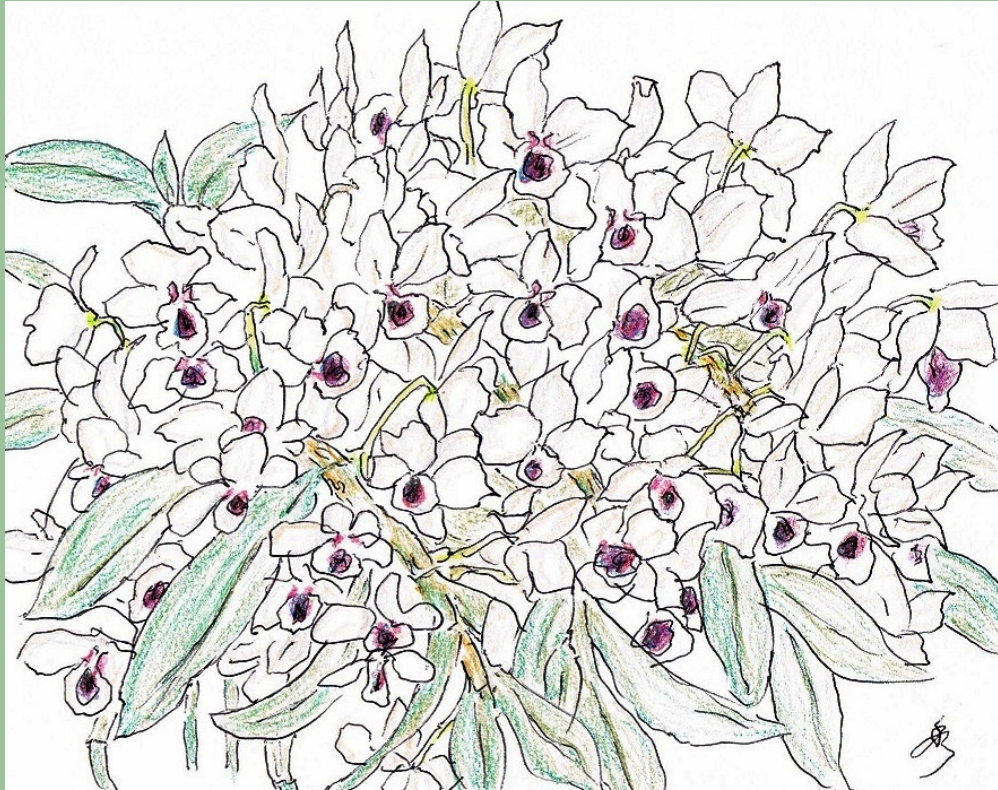


見沼たんぼ・野草スケッチ・番外 ランの花

デンドロビウ・ノビル系？

蘭の花言：美人、わがままな美人 天性の華をもつ 真心、思いやり



p.s ; この時期に咲く野草のスケッチが見当たらないので
以前、描いたお祝いものの花・ランを掲載しました。 15.1.1



デンドロビウムは、その原種の形態の多様性の高さや品種数の多さから、個々の種別よりも系統別に考えられることが一般的である。

特徴は、茎が多肉の棒状になることで、そこから節ごとに数枚の葉を並べる。花は、蘭の花として、比較的特徴の少ない形で、唇弁は他の弁より丸くて大きいだけで、特に目立った特徴はない。花は茎の節、葉腋から出て単独か束生状、あるいは総状花序をなす。六枚の花びら（外花被片3、内花被片3）があるが、全部が同じ形ではないので、左右対称になる。特に、内花被片の一枚が変わった形になっている。多くのものでは袋や、手のひらをすぼめた形や、あるいはひだがあるなど、他の花びらとは異なっており、これを唇弁（しんべん、リップ）と呼ぶ。他の内花被片二枚は同形で側花弁と言う。外花被片も唇弁の反対側のものと残り二枚がやや違った形をしている。

ウィキペディアよりの抜粋致しました。